



2009.8.16 聖母被昇天

「復活の十字架」

南山教会の名称の祭日に当たって

主任司祭 B.ノヴァク神父

1975年に創立25周年記念行事第二部として、聖堂の正面に十字架を設置することになりました。今、南山教会に飾られている十字架は、当時の信者たちによって五つのデザインのうちから選ばれたものです。投票総数は304でした。この十字架は、158票をもらいました。おそらく、このデザインに票を入れた一人ひとりの思いが異なっただけでしょうが、月報二二六号に載せられた信者の文書が伝える考え方を十字架の制作者である本田利光さんの言葉が現わしているのではないかと思います。本田さんは、月報二二五号にこう書きました。「制作にあたって、一番嬉しかったことは、七種神父様より、復活の十字架を制作してほしいとのことでした。あの血の流れている現実的な苦しみの姿ではなかったことです。私は、まだ信者ではありませんが、信仰の対象(手助け)としては、御復活のキリストの方が、見る人に夢と力を与えるような気がするからです。」確かに、選択があれば誰も、正常である限り、苦しみではなく、楽しみを選びます。要するに、死を選ぶのではなく、命

(次のページへ)

平日のミサ時刻:

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
 第2水曜日 午後2時30分 子供のミサ(マリア館)
 火曜日 午後7時
 金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
 聖体礼拝: 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻:

土曜日 午後2時30分
 日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
 Sunday:
 9:30 am Mass in English (Maria Kan-Hall)
 第4日曜日 午後2時 ベトナム語のミサ

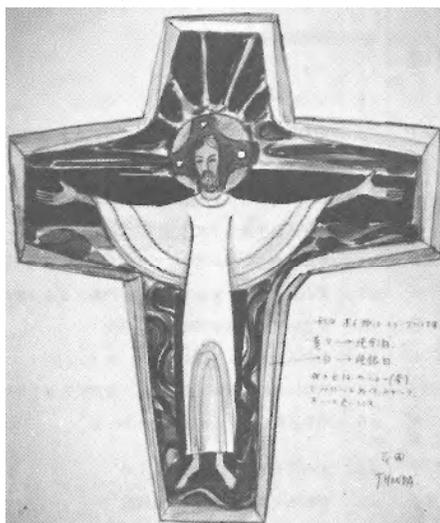
(前ページより)

を選びます。けれども、現実的に考えれば、殆どの場合には、わたしには選択する余地がありませんし、苦しみからどうしても逃げようとする人は、そんなつもりがなくとも、大きな失敗や死を選び、元の苦しみよりも更に苦しみを他人や自分自身に与えることがあります。

キリストも正常な人でしたので、わざわざ苦しみを探し求めたわけでなければ、多くの場合は色々な苦しみを避けてきました。けれども、苦しみから逃げることは、人間に対する愛を裏切ることになる時、苦しみに対する自然な恐れを乗り越えて、この苦しみを受け入れました。十字架上で、イエスは非常に醜くなっているし、「あの血の流れている現実的な苦しみの姿」を見て違和感を抱いても不思議ではありませんし、当然です。けれども、この傷だらけ、血だらけの姿こそ、わたしたち一人ひとりに対するイエスの愛の大きさを現わしています。十字架に付けられているイエスの姿においてイエスの愛の偉大さを見出せる人は、違和感を抱くどころか、イエスのもとに非常に強く引き寄せられます。

勿論、イエスの人生は十字架上

で終わったならば、十字架のもとに引き寄せられても、悪に対する愛の無力の確認しか出来なかったでしょう。けれども、イエスの人生はそんな惨めで、残酷な死で終わらせませんでした。イエスは復活の啓示を完成させます。イエス



イエスの十字架と復活は、一つの神秘、すなわち過ぎ越しの神秘の引き離すことの出来ない重要な部分であります。十字架だけに留まれば、絶望に陥るか、苦しみを称える非常に不健全な霊性を生きることになる恐れがあります。十字架を無視して、キリストの輝かしい復活の姿にだけ目を留めるならば、この世の現実から離れた空想の世界に生きるようになる恐れがあります。けれども、わたしたちは十字架と復活が現わしている事実を信じるようになってきたら、美しさや醜さではなく、または、苦しみや楽しみではなく、キリストのように愛を自分の選択基準にするなら、たとえ大きな苦しみや死に会ったとしても、必ず復活の栄光、即ち愛の完成に達することが出来るという確信を与えられます。さて、わたしたちは、南山教会

の愛は、イエスを十字架に付けた人が犯した悪よりも弱く見えても、イエスの復活の姿を見れば、実際にイエスの愛がこの悪と他のあらゆる悪よりも強いものであるということが分かります。要するに、悪や苦しみはどれだけ大きなものであっても、キリストの愛を滅ぼすことが出来ないし、この愛は死を超えて永遠に続くものです。

の復活の十字架において、復活の栄光と誠実な愛との密接な関係を見出し、過ぎ越しの神秘全体を受け入れることによって力付けられ、イエスと同じように愛に生きることが出来ますように、そしてイエスのような生き方によって多くの人を永遠の命の源である神のもとに導くことが出来ますように祈りたいと思います。

初聖体の感想

(その2)

クララ ふじたゆい

はつせたいありがとうございました。ポーランドのおいのりはしつなかつたです。だから、日本のおいのりもおぼえたいと思いました。はつせたいのパンは、あじがしなかつたです。はつせたいのれんしゅうのときにいなかつた子もいたです。でもはつせたいにはいいました。日本でもおいのりをがんばりたいと思います。

ヨハネ・アンジェロ 宮本しんご
ぼくは、6月14日に、はつせたいをうけました。ごせたいは、パンのあじがしました。ばさばさしていましたが、おいしかったです。ぼくは、ごせたいをいただいて、とてもうれしかったです。

第四回運営委員会議事録

日時 2009年7月5日
11時20分～12時20分
場所 司祭館一階集会室

○司祭団より
・司祭夏季休暇の予定

ボクダン神父

8月16日～30日 黙想と休暇

エディ神父

8月30日～9月13日 黙想と休暇

・教区障害者のつどいへ教会から3万円の寄付をする。

○報告事項

一、6月28日信者全体集会

約70名の参加があった。

運営委員長や各委員から今年度の運営方針や活動計画について説明があった。今年度の特徴として、教区と関わりを深めようという方針がある。

これからの活動に期待する意見や質疑が多かった。

二、マリア会へのバザー関連の申し入れについて

昨年度は事前の準備でいくつかが問題があった。今年度、同じことが起こらないよう、出店計画の準備段階から昨年度の反省を生かせるようにお願いをしている。

○審議事項

一、平和の祈りを城東ブロック行事とすることのお知らせ

平和の祈りを城東ブロックの行事とすることについて、城東ブロックにお知らせする文書の草案の確認、了承を行った。

二、敬老会について

招待するお年寄りは75歳以上と

する。

マリア会の世話により今年度も食事は仕出し弁当とし、紅白饅頭の土産を検討している。余興の出し物も検討中であり、経費節減に努力する。

三、バザーについて

今年度のバザーのテーマを募集している。

テーマ決定の経緯については、何らかの形でお知らせすることが必要である。

7月12日9時半ミサ後、第一回のバザー委員会を開催する。

四、その他

カ障連新潟大会に向けた募金について

教会からの3万円の支出に加え、活動を知っていただく意味も込めて、7月26日に募金を行う。

○納骨堂管理委員会より

東八事霊園にある墓地について管理規程を作成する必要がある。早急に検討を進める予定。

○各会報告

・典礼委員会

6月14日 初聖体

7月19日

教会学校の準備で子供の為のミサの開催予定

7月24日

名古屋教区典礼委員会

7月26日 南山教会信者会の開催

予定

8月6日 8時ミサ平和の祈り

8月9日 9時半ミサ後

平和の祈り

8月16日 聖母の被昇天のミサ

8月16日 聖母の被昇天祭を行う。

行列に参加してほしい

教会学校

7月26日 初聖体を受けた男子を対象に侍者会を行う

マリア会

7月2日初金ミサ後例会を開催した。各委員会の報告を受け、9時半ミサ後の聖堂内での動きについて、オルガン演奏後に活動を始めることを確認した。

敬老会については75歳以上をご招待することに決定し、郵便葉書で連絡することとした。

バザーについては、各班に資料を配布し、意見をまとめ、9月に、マリア会の取り組みを文書にまとめ、確認、配布する。

11月6日に多治見修道院の周辺で遠足を計画。信徒協より教区メンバーとして参加の要請があったので今後の予定とする。

ヨセフ会

連絡網の整備中、再度確認を行い、正式版を作成する。

7月26日11時より班長会を開催する。

バザー委員会

第一回バザー委員会を開催

7月12日11時よりマリア館2階集会所にて行う

手話の会

ミサ通訳者が不足しており、第一答唱 第二朗読はしおりを参照して下さいと表示する。

来年度のガイドブックから毎週の通約でなく第一、第三週に内容変更する。

中高生父母会

7月12日 ミサ後、中庭でフリーマーケットを開催する。

雨天時は、マリア館ホールに場所を変更する。

中高生会

7月19日 終業式

9月6日 始業式

ボーイスカウト

スカウトバザーの純益は37万円であった。ご協力に感謝する。

7月18日～20日 水泳訓練を計画。場所は、福井県若狭湾高浜海岸。約30名の参加を予定。

8月6日～9日 東三河 吉川野営場で行われる県連主催野営大会に5名参加予定。インフルエ

ンザ対策に苦慮中。

夏キャンプは8月中旬に予定。場所は、長野県の山岳地帯で検討中

愛と苦しみ (その8)

人間の癒しの源であるキリストの受難と復活

B・ノヴァク神父

2・2・3 十字架に付けられた愛

「イエスは、方々を巡り歩いて人々を助け、悪魔に苦しめられている人たちをすべていやされたのですが、それは、神が御一緒だったからです。」使 10:38

大きな苦しみに、人間が普段かぶっている仮面をはずし取り、その人の本当の顔を現す力があります。多くの人は、大きな苦しみにあつて初めて自分の本音を出し、自分が本当に何を感じ、何を考え、何を大事にしているかということを示します。苦しみにあつて、時に、疲れやちよつとした困難のような小さな苦しみにあつて、愛と思われたものは偽物であつたと分かることがあります。「本当の友人は困るときに分かります」というポーランドのことわざを言い換えれば、「本物の愛は苦しみに

において分かります」と言えるでしょう。

出会った人々のために、いつも善を行ったイエスは、非常に大きな苦しみの中にあつても、殆どすべての力を失つて、死を目前にしても、周りにいた人々を相変わらず愛していました。自分の十字架を背負った時に、泣いていた婦人を慰めました。

十字架に付けられていた時に、愛するお母さんに対してだけではなく、自分を十字架につけたローマの兵士や、死刑に当たる犯罪を犯した人に対しても思いやりの心をもつて、彼らに一番必要な善を行いました。そのような態度と行いによって、イエスの愛は、悪にも苦しみにも負けない、真の愛であつたということが分かります。

参照…ヨハ 19:26、27、ルカ 23:26、43

「イエスは大声で叫ばれ

た。「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。」こう言つて息を引き取られた。「ルカ 23:46

イエスが十字架に付けられて死んだという事は、ユダヤ人にとつて、イエスが神によって遣わされなかつた、また神の名によつて語つたのではなく、ただ自分から話した、要するに本当のメシヤではなかつたというよな彼らの確信を証拠立てるものでした。その時、イエスは自分のアイデンティティー、すなわち神の子であり、神によつて遣わされた救い主であるということを疑うように非常に強く誘惑されたことでしょう。

神の支え、それとも少なくとも神と一緒にいてくださり、本当に愛してくださっているように感じることを最も必要としていた時、十字架に付けられていたイエスは、父である神によつても見捨てられたように、もう誰にも頼ることができないように感じていました。このような孤独感は、イエスにとつて非常に大きな苦しみをもたらしていたにちがいないと思えます。もしかして、この苦しみは、鞭打た

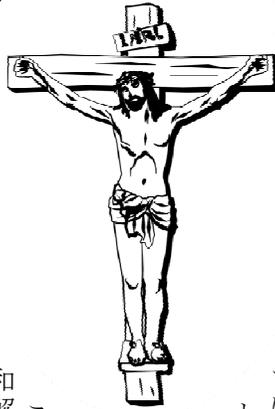
れた時や茨の冠をかぶせられた時や十字架に釘付けにされた時の肉体的な苦しみよりはるかに辛くて激しい苦しみだったかも知れません。けれども、そんな状況においても、イエスは自分の感情や感覚よりも、父である神を信頼していました。人間的に考えれば、自分に何の報いも与えられそうもなかつたにもかかわらず、父の望みに適つて最後まで愛し続けました。愛していたために、何も利益を得なかつただけではなく、自分の命を含めてすべてを失いました。

このように見える現実と逆らつて、神である父が絶対に自分から離れることがないと信じ続けたイエスは、自分の命を父の手に委ねました。このようなイエスの姿を見れば、神に対するイエスの愛は、本当に何の利益も求めていない、純粹で本物の愛であつたということが分かります。

以上述べたことに基づいて、イエスが神から与えられた使命を完全に成し遂げられたのは、多くの苦しみを受けたためではなく、大きな苦しみの中にあつても、神と人を愛し続けたためだったということが言えると思

います。

イエスは、何の罪も犯すことがありませんでした。けれども、人間になることよって自ら人類と縁を結んで、全人類が犯した罪の結果に、生まれてから死にいたるまで与かりました。肉体の死、特に神から離れているように感じたという霊的な死の体験は、罪の最終的な結果を受け入れることでした。こうして、罪を



犯すことよって神との絆を一度も切ったこととや傷つけたことのないイエスは、人間が罪を犯すことよって生み出される「神の無い暗闇」に、ある意味で、神を導き入れました。それとも、もっと正確に言えば、神が無いと思われる暗闇にも、神がおられるということを現してくださいました。

どれだけ神から離れても、それは決して神のもとに帰ることが出来ないほどの距離にはならないということを現してくださいました。というのは、神は絶対にわたしたちを手放すようなことをなさらないし、わたしたちを諦めることもありません。わたしたちは、神から離れようとしても、神はいつもわたしたちについて来られます。わたしたちは神との縁を切るうとしても、神はわたしたちを愛し続けるために、わたしたちと絶えず繋がっています。それ故に罪を赦していただくこと、すなわち神と和解することと神と愛の

交わりのうちに入ることは、生きていく限りいつも可能です。この可能性を生かすために、わたしたちはイエスのように自分の命を神の手に委ねるだけで十分なのです。

参照…マタ 27:39、50、イザ

49:14、16、ヨハ 16:32、1ペト 2:23

(つづく)

青山神学生との議論から

加藤 迪春

一九四八年、私は多治見高等学校の三年生で青山神学生と同クラスになった。当時は職よせのデモが日常茶飯事で生徒間ではマルクス主義を論ずることが先端視される風潮でもあった。

修道院から通う神学生と私とは同じ通路で往復に議論を交わってきた。その中で「赤旗を担いだデモ隊よりも教皇の『労働者の境遇』という回勅が西欧諸国の経営者に与えた影響がはるかに強烈であった。」との話が出たが卒業式が迫り決着しないまま神学生は名古屋の大神学校へ私は発病入院したが少し回復した頃この懸案を解くため教会を訪ねた。

ホンナツケル神父様が先ず公教要理の勉強からと言われ労働者の保護の聖人である聖ヨセフの存在も知り一年後に受洗をした。

一九八九年、日本タイル工業㈱の社長に就任したときこの事を念頭に労組との団交には親身で臨んだお陰でモラルが向上し業績が好転して更生計画を七年余り繰り上げて完遂することが出来た。

この成果の源泉は、頭書の出会いに在って正に恵みであった。今春金祝の青山神父様との事に

金婚の皇后様の御歌「かの時に我がとらざりし分去れの片への道は何処ゆきけん」を思い起こして感慨を深くしている。

「註」これは、カトリック新聞社の「司祭年声」募集」に応募した原文です。日本タイル工業㈱は一九二一年株式会社として設立、一九四六年昭和天皇が行幸され、二〇〇四年社名を変更にTOTOMAテリア㈱となる。

皇后様の御歌の中の「分去れ」は、軽井沢テニスコート近く、中山道と北国街道の分岐点です。

中学生 夏の合宿

高校一年 中河 碧

今回、私はこの合宿に参加して、学ぶことがとてもたくさんあったと思います。

合宿には、途中からの参加でしたが、とても楽しむことができました。今回は、戦争や原爆について、知るために、施設をおとずれたことで、本当に小さな事でも学べたと思います。私も行きかけたです。

2日目に、モリコロパークに行きました。とても楽しかったけど、三郎くんの出来事には、自分の無力さをとても実感しました。そばに居た

のに、全然何もしてあげられなかった私は、ただ祈ることしかできませんでした。三郎くんへのみんなの祈りが通じたのか、重傷でなかったことはとてもうれしかったです。そして、今回の合宿での経験は、一生忘れない事だろうし、この先、いかし

ていけたらよいです。今回の合宿でも、やっぱり協力することの大切さを私は改めて実感しました。みんなで出かけるにも、ごはんを作るにも、掃除をするにも、みんなで作るからこそ、大きな意味を表すのだと思いました。

私が、平和の祈りでの共同祈願で深く思ったことは、神さまによって、この世に生まれてきて良かったということだと思います。これからも、たくさんの人と出会います。その人たちとの関係はとても大事にし、互いに協力し、助け合って生活していきたいです。

とてもつかれた(と思う)夏合宿

中学三年 松浦 大樹

私は来年から参加できるか不明なため、今年はいっきりに遊ぶつもりだったけど、……。

まず一日目、私と一朗と二人でおくれて参加した。その夜のバーベキューでは、なぜかわからないがあまり食べることができなかった。そ

の次の花火では、楽しめたが、サブローの調子が悪くなつてしまい花火は途中で中断したため、「もう少しやりたかった。」と思いつながら一日が終了した。

二日目、この日はモリコロパークへ行くことになったが、後に行かなくてよかったなと思うことになった。プールで楽しく遊び昼食を食べた後、外でみんなと遊んでいたら、サブローが少し気分が悪くなつたらしく、建物の中で休みに行った。

そのときは何とも思わずみんな遊びを続けた。そしてみんながつかれたので、中に入ってサブローの様子を見に行ったら人が集まっていたので、なんだと思つてそこへ向かったら、サブローが熱中症を引き起こしたらしく、意識がもうろうとしていた。私や他の人達もあわてていたが、近くにいた人やモリコロパークの人が、救急車を呼んでくれたおかげで、すぐに病院へ連れていくことができ、サブローも回復したので良かったです。その後はサブローの分もみんな楽しんでという話になり、みんなでトランプやUNO、花火をしたりして二日目終了した。

三日目をのぞく二日間は、身体的にも精神的にもつかれました。とくに二日目は、あどきに他の人達が

協力してくれたおかげでサブローの回復も早かつたらしいので手伝った人達にも感謝しています。僕のまわりでそのようなことが起きたら、自分も手伝うことができるようにがんばりたいです。

教会学校合宿

夜の山の雨女

六年 三谷 清香

私は毎年、教会のキャンプに来ています。今年も、キャンプのきもだめしをしました。その時、みんなを怖がらせるために、怖い話をしました。『あるところに、ふつうの女の子がいました。女の子が、雨の時にアマガエルを足でふんでしまいました。その日から、その子が山にいらると毎日雨がふるようになってしまいました。その子は雨女といわれていじめられ、自殺してしまいました。その日から、山に行くことハサミで首を切られて、布に巻かれて、てるてるぼうずにされて、「あーしたてんきになーあれ」と言つて殺されてしまうんだよつて。』そんな話をしたせいか、夜に小さな女の子が、「チヨキチヨキはさみの音が聞こえるよ。」とか、「雨女がきたらどーしよー。」とか言つて、ねれなくなつ

てしまいました。それ以来、毎日夜にレッサーパンダのリンちゃんの話させられます。でも、女の子がカワイイのでゆるしてあげてます。(今のところ)おかげでねぶそくだけど、来年も怖い話してみたいです。

キャンプの感想

六年 西尾 隆広

ぼくは8月21日〜23日まで教会学校のキャンプで、長野県の「松川青年の家」に行きました。

長野県は、山にかまれていて海という大きい物がありません。だけど山の中には川や木、森などの自然があるので、名古屋などのビルでかまれているところよりきがるに自然にふれあうことができました。その自然にふれあうなかで、カエル、クワガタなどの生き物を、見かけることができました。その中でとくに名古屋で見かけにくい、コクワガタをつかまえることができました。

ところで、「松川青年の家」でのできごとは、たくさんあり、一日目は、きもだめし。二日目は、キャンプファイヤーなどのイベントもできました。一日目のきもだめしは出発までが暗くてこわかったけど、いざ出発となると、ぜんぜんこわく

なく、すぐ帰ることができました。二日目のキャンプファイヤーでは、まちがいがし、ボウリングなど楽しかったのもとても長く感じました。この三日間のできごととはとても楽しかったです。

ボーイ若狭の海へ飛び込む

伊藤 宗太郎

ボーイ97団は去る7月18〜20日、二泊三日で、福井県若狭湾へ海水浴にかけた。スカウト、隊長、リーダーに子供とその家族を加え、40名程が観光バスを一台借り切って、ワイワイガヤガヤと賑やかに出発した。

天候はまだ梅雨が十分に明けず曇り空の日が多かった。それに少し気温が寒く、海に入るとガタガタとふるえる小さな子供さんもいた。それでもスカウト達は元気よく、50秒タイムトライアルに参加していた。

初日夜にはイカダ作りやストーンペインティング(石に絵を描く)に挑戦していた。翌日苦心して出来上がったイカダを海に浮かべたが調子悪く、仕方なく二艘を合体したら、スイスイと動き始めた。

三日目は午後3時に掃除をして宿舎を引き上げた。帰路は一部渋滞に巻き込まれて、夜の9時過ぎに南山教会へ無事に着いた。三日間お母様方の美味しい手料理御苦労さま!お土産に『オバマまんじゅう』ありがとう!

ボーイ長野の山々を駆け

伊藤 宗太郎

97団のカブ、ビーバーの子供たちは、夏の訓練に長野県下伊那郡阿南町にある阿南少年自然の家にかけた。お盆の8月14〜16日二泊三日の予定で南山教会中庭から観光バスに30余名のスカウト、隊長、リーダー、父兄たちが乗り込み、賑やかに出発した。

地震被害やお盆で渋滞を心配したが、お昼までにスムーズに現地に着した。周囲の素晴らしい山や、さわやかな空気に子供たちは歓声を上げた。

宿泊施設はあらゆる遊びの環境が整備されており、食事も、寝具も、

工作道具も、上げ膳据え膳で大人の手間は、ほとんどかからなかった。初日は美味しいバーベキューとミニウッドチェア(椅子)の制作に挑戦した。この軽い腰かけは習日夜の営火にちよつと大活躍した。

二日目は追跡ゲームによるウオーケラリー(ハイキング)にキヤツキヤツと大騒ぎ。橋のたもとでの川遊びとあまごのつかみ獲り。その場での野趣ゆたかなくし焼きに満喫した。夜は影絵ゲームと営火で盛り上がった。

三日目は初挑戦のマレットゴルフに興じ、清掃と後片付けで終了した。

夜は涼しくグツスリと眠れた。食事の朝食は焼き魚付きの和食。昼食や夕食はチキンカツカレーやバーベキュー料理などかなり心がこもっていて満足した。子供たちは楽しくて三日間があつ!と過ぎ去り、帰りは名残惜しそうにバスで南山教会へ。また来年も来たい!

7月号の訂正

帰天

5月3日ベルナデッタ新出
登美枝(72歳) ↓ 5月

25日ベルナデッタ新出登
美枝(72歳)

カトリク教会カテキズムより

1849 「罪とは、理性や真理、そして正しい良心に背く過ちです。また、あるものへのよこしまな愛着による、神や隣人に対する真の愛の欠如です。罪は人間の本性を傷つけ、その連帯を損ないます。罪は、「永遠の法に背くことばや行い、あるいは望み」という定義がなされています。」

1850 「罪は神に対する侮辱です。「あなたに、あなたのみわたしは罪を犯し、御目に悪事と見られることをしました」(詩編51・6)。罪は、わたしたちに対する神の愛に逆らい、わたしたちの心をその神の愛から遠ざけます。人祖の罪のように善悪を知ったり定めたりして「神のように」(創世記3・5)なることを意図する、神への不従順であり、反抗です。したがって、罪は「神を無視するほどの自己愛」なのです。この高慢ゆえに、罪は救いをもたらされたイエスの従順とはまったく正反対のものなのです。」

南山句会

平成二十一年七月一日



初蟬の一ト声鳴きて去りにけり

あれこれと文句の多き梅酒漬け

箒持つ肩にはらはら竹落葉

冷奴味なき味をたのしめり

雨近し窓すれすれに夏燕

初聖体子等輝きて枇杷うるる

久に逢ふ友の杖曳く夏帽子

ブーニンのシヨパンに酔ひし夏の夜

一門の一日をしのぶ夏つばき

さくららんぼ一粒一灯卓匂ふ

団扇風涼し余生と思ひけり

毎月第一水曜日午後一時半

マリア館二階集會室

瑞子 光子 とく子 ひろし Sr.ミカエラ 洋子 佐知子 せつ子 義子 のり子 のぼる

信者の消息

受洗

おめでとうございます

使徒フィリポ 所 邦彦
マリア・ファウスチナ 平田柑葉
マリア・マルカ・リータ・アラコク 平田瑞葉

結婚

♡ お幸せに ♡

7月 5日
窪地信夫 ♡ マリア・ヘルメテッタ濱岡美名
7月 18日
トマス・アクィナス友岡史仁 ♡ 高橋照世

帰天

ご冥福をお祈りいたします

7月 23日
アンナ 春日部 道 (86歳)
7月 26日
アルベルト 林 武生 (98歳)
8月 7日
小さきテレジア 小川こずえ(51歳)

転出

いつまでもお元気で

ペトロ 小笹源水 (赤羽)
ルトビニコ茨木 小笹頌太郎(赤羽)
マルコ 小笹千紘 (赤羽)
マリア・ヘルメテッタ 加治木スズ子(恵方町)
マキシリアノ・マリア・コルベ 谷岡篤史(玉造)

2009年9月・10月度行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
9月	14(月) 十字架称賛祝	13(日) 聖十字架のミサ (教会保護者) 20(日) 10:30 合同病者 塗油の秘跡 11:00 敬老会 23(水) ボクダン師 霊名の祝日 27(日) 教会美化	4(金) マリア会例会(懇談会) 6(日) 運営委員会 6(日) 教会学校始業式 9(水) 14:30 子ども部屋 13(日) 典礼委員会 26(土) 要約筆記付きミサ	17(木) 司祭協議会 23(水) 教区典礼研修 会 23(水) 教区八事合同 慰霊祭 27(日) 城東ブロック の集い 27(日) 世界難民移住 移動者の日
10月	ロザリオの月 18(日) 世界宣教の日	25(日) バザー	2(金) マリア会例会(懇談会) 4(日) 運営委員会 14(水) 14:30 子ども部屋 18(日) 典礼委員会 24(土) 要約筆記付きミサ	15(木) 司祭協議会 18(日) 世界宣教の日 (献金) 22(木) 司祭評議会